

# 關西大學新報

發行所 大坂市大津区長柄中道  
關西大學新報社  
電話 堀川(35)2072番  
発行人 渡辺玉五郎  
編集人 平山 忠夫  
定価 一部十円

## 論説

### 全私学に共通の問題

政府の文教政策と対決

全私学に共通の問題、政府の文教政策と対決。これは、戦後教育の発展と、私学教育の存続と、その両者の間に生じた深刻な矛盾を、鋭く指摘したものである。戦後教育の発展は、国家の富強と国民の幸福に不可欠なものである。私学教育は、戦前戦中を通じて、我が国の教育の発展に多大の貢献をした。戦後、私学教育は、戦前よりも更に発展し、今日の我が国教育の中心をなしている。しかし、政府の文教政策は、私学教育の存続と発展を阻害する方向をとり、私学教育の存続と発展を脅かしている。これは、戦後教育の発展と、私学教育の存続と、その両者の間に生じた深刻な矛盾を、鋭く指摘したものである。

# 反対斗争委を結成

## 授業料値上げ

全学投票で授業放棄権確立

全学投票で授業放棄権確立。これは、授業料値上げに反対する学生が、授業放棄権を行使し、授業料値上げに反対する意思を示すことである。これは、授業料値上げに反対する学生が、授業放棄権を行使し、授業料値上げに反対する意思を示すことである。

# 授業料の値上げについて

## 国家保障制の確立を望む

授業料の値上げについて。これは、授業料の値上げに反対する学生が、国家保障制の確立を望むことである。これは、授業料の値上げに反対する学生が、国家保障制の確立を望むことである。

# 授業料阻止統一行動開始

## 中之島で共同宣言採択

授業料阻止統一行動開始。これは、授業料の値上げに反対する学生が、中之島で共同宣言を採択することである。これは、授業料の値上げに反対する学生が、中之島で共同宣言を採択することである。

### 古本全般売買

## 天牛本店

活動者会議を開催

活動者会議を開催。これは、活動者会議を開催することである。これは、活動者会議を開催することである。

### 年額八千円(二部)程度か

## 理事会は値上げを決定

理事会は値上げを決定。これは、理事会が値上げを決定することである。これは、理事会が値上げを決定することである。

### 授業放棄など確認を

## 再度臨時大会を開催

再度臨時大会を開催。これは、再度臨時大会を開催することである。これは、再度臨時大会を開催することである。

### 国庫補助増額で

## 教組とへ共闘を申し入れ

教組とへ共闘を申し入れ。これは、教組とへ共闘を申し入れることである。これは、教組とへ共闘を申し入れることである。

### 中大と交換弁論開く

## 全日本大会にも活躍

全日本大会にも活躍。これは、全日本大会にも活躍することである。これは、全日本大会にも活躍することである。

### 関西自治学共闘会議結成

## 全国的な闘争へ拡大

全国的な闘争へ拡大。これは、全国的な闘争へ拡大することである。これは、全国的な闘争へ拡大することである。

### 闘争へ菓子差入れ

闘争へ菓子差入れ。これは、闘争へ菓子差入れすることである。これは、闘争へ菓子差入れすることである。

### 久井専務を答弁に招き

## 臨時学生大会開く

臨時学生大会開く。これは、臨時学生大会を開くことである。これは、臨時学生大会を開くことである。

### 経営の非合理性と反

## 動文教政策に反対

動文教政策に反対。これは、動文教政策に反対することである。これは、動文教政策に反対することである。

### 三和銀行

三和銀行。これは、三和銀行の広告である。これは、三和銀行の広告である。

### 学声春秋

学声春秋。これは、学声春秋の広告である。これは、学声春秋の広告である。

### クニタの

クニタの。これは、クニタの広告である。これは、クニタの広告である。

### 丹頂ポマード

丹頂ポマード。これは、丹頂ポマードの広告である。これは、丹頂ポマードの広告である。

### OK

OK。これは、OKの広告である。これは、OKの広告である。

### 古本全般売買

## 天牛千日前支店

TEL (75) 2027

### 丹頂ポマード

丹頂ポマード。これは、丹頂ポマードの広告である。これは、丹頂ポマードの広告である。

### OK

OK。これは、OKの広告である。これは、OKの広告である。

### 丹頂ポマード

丹頂ポマード。これは、丹頂ポマードの広告である。これは、丹頂ポマードの広告である。

### 丹頂ポマード

丹頂ポマード。これは、丹頂ポマードの広告である。これは、丹頂ポマードの広告である。

### 丹頂ポマード

丹頂ポマード。これは、丹頂ポマードの広告である。これは、丹頂ポマードの広告である。

### OK

OK。これは、OKの広告である。これは、OKの広告である。

# 目的は独占資本の強化 あてにならない所得倍増

第二次池田内閣は、30日(二日)の総選挙を終えて、新しく成立した。本年は内閣、外交とも非常に緊張した状態の連続で、この間に国内では治安闘争を中心とした三権分立、国会解散、総選挙などにより内閣は大いに動揺した。また治安闘争に集結された国民のエネルギーの減衰も、また総選挙も政府自派に有利な多数の金庫裏の増進に、わずか二十数名の増加に止つたのである。そして安部は国民の支持を得たと言つてはならない。池田内閣の本質をわづらひ、はつきりと認識して、今後の政治の展開に、あてにならない所得倍増の政策を、正確に認識してはならない。

政治的には民主主義を堅持し、フランスムへ移行するであろう。また、池田内閣は経済成長を中心とする所得倍増、社会政策、防衛の三原則を高く掲げているが、この大原則の直結が、全く不可解な点がある。経済成長の若者は、大企業への直結であり、独占資本の増進が強く追求されるであろう。日本経済の弱体化、二重構造をますます強化するであろう。また社会政策、防衛に流れるのは日本資本主義の現段階での矛盾を独占資本に有利に解決するより、むしろ切り取りとすることである。このことを、次いでこれ以上には、池田内閣の政策を正確に認識してはならない。

# 池田政策の本質と問題点

## 二重構造に支えられた経済政策

池田内閣の経済政策は、第二次大戦後の日本経済の発展を促すために、二重構造に支えられた政策である。この二重構造とは、大企業と中小企業との格差を拡大し、大企業を強化し、中小企業を弱体化させることである。この政策の本質は、独占資本の強化にある。池田内閣は、大企業への優遇政策を打ち出し、大企業への投資を促進し、大企業への融資を拡大し、大企業への税制優遇を打ち出した。これにより、大企業はますます強くなり、中小企業はますます弱くなる。この政策の問題点は、中小企業の弱体化にある。中小企業は、大企業との競争に勝てなくなり、倒産の危険にさらされる。また、大企業への優遇政策は、社会政策の弱体化を招き、所得倍増の政策は、あてにならない。池田内閣の政策は、日本資本主義の現段階での矛盾を独占資本に有利に解決するより、むしろ切り取りとすることである。このことを、次いでこれ以上には、池田内閣の政策を正確に認識してはならない。

# 総選挙の決算

## 文学部教授金戸嘉七

総選挙の決算は、池田内閣の政策の正否を判断する重要な指標である。池田内閣は、大企業への優遇政策を打ち出し、大企業を強化し、中小企業を弱体化させた。この政策の本質は、独占資本の強化にある。池田内閣は、大企業への投資を促進し、大企業への融資を拡大し、大企業への税制優遇を打ち出した。これにより、大企業はますます強くなり、中小企業はますます弱くなる。この政策の問題点は、中小企業の弱体化にある。中小企業は、大企業との競争に勝てなくなり、倒産の危険にさらされる。また、大企業への優遇政策は、社会政策の弱体化を招き、所得倍増の政策は、あてにならない。池田内閣の政策は、日本資本主義の現段階での矛盾を独占資本に有利に解決するより、むしろ切り取りとすることである。このことを、次いでこれ以上には、池田内閣の政策を正確に認識してはならない。

# ごまかしの社会保障

## 国民への重税政策

ごまかしの社会保障は、国民への重税政策の一環である。池田内閣は、大企業への優遇政策を打ち出し、大企業を強化し、中小企業を弱体化させた。この政策の本質は、独占資本の強化にある。池田内閣は、大企業への投資を促進し、大企業への融資を拡大し、大企業への税制優遇を打ち出した。これにより、大企業はますます強くなり、中小企業はますます弱くなる。この政策の問題点は、中小企業の弱体化にある。中小企業は、大企業との競争に勝てなくなり、倒産の危険にさらされる。また、大企業への優遇政策は、社会政策の弱体化を招き、所得倍増の政策は、あてにならない。池田内閣の政策は、日本資本主義の現段階での矛盾を独占資本に有利に解決するより、むしろ切り取りとすることである。このことを、次いでこれ以上には、池田内閣の政策を正確に認識してはならない。

# 真実の報道と新聞労連

## 産経脱退の意味するもの

真実の報道と新聞労連は、産経脱退の意味するものについて、大日野宗吉が論じている。産経脱退は、新聞労連の弱体化を招き、真実の報道を弱体化させる。新聞労連は、大企業への優遇政策を打ち出し、大企業を強化し、中小企業を弱体化させた。この政策の本質は、独占資本の強化にある。新聞労連は、大企業への投資を促進し、大企業への融資を拡大し、大企業への税制優遇を打ち出した。これにより、大企業はますます強くなり、中小企業はますます弱くなる。この政策の問題点は、中小企業の弱体化にある。中小企業は、大企業との競争に勝てなくなり、倒産の危険にさらされる。また、大企業への優遇政策は、社会政策の弱体化を招き、所得倍増の政策は、あてにならない。新聞労連の政策は、日本資本主義の現段階での矛盾を独占資本に有利に解決するより、むしろ切り取りとすることである。このことを、次いでこれ以上には、新聞労連の政策を正確に認識してはならない。

# 朝日会館はまず成功

## 第十二回学園祭を終る

朝日会館は、第十二回学園祭を終る。朝日会館は、大企業への優遇政策を打ち出し、大企業を強化し、中小企業を弱体化させた。この政策の本質は、独占資本の強化にある。朝日会館は、大企業への投資を促進し、大企業への融資を拡大し、大企業への税制優遇を打ち出した。これにより、大企業はますます強くなり、中小企業はますます弱くなる。この政策の問題点は、中小企業の弱体化にある。中小企業は、大企業との競争に勝てなくなり、倒産の危険にさらされる。また、大企業への優遇政策は、社会政策の弱体化を招き、所得倍増の政策は、あてにならない。朝日会館の政策は、日本資本主義の現段階での矛盾を独占資本に有利に解決するより、むしろ切り取りとすることである。このことを、次いでこれ以上には、朝日会館の政策を正確に認識してはならない。

# 従来と変らぬ内容

## 休講教科書問題など

従来と変らぬ内容は、休講教科書問題などについて、四者懇談会が論じている。休講教科書問題は、大企業への優遇政策を打ち出し、大企業を強化し、中小企業を弱体化させた。この政策の本質は、独占資本の強化にある。休講教科書問題は、大企業への投資を促進し、大企業への融資を拡大し、大企業への税制優遇を打ち出した。これにより、大企業はますます強くなり、中小企業はますます弱くなる。この政策の問題点は、中小企業の弱体化にある。中小企業は、大企業との競争に勝てなくなり、倒産の危険にさらされる。また、大企業への優遇政策は、社会政策の弱体化を招き、所得倍増の政策は、あてにならない。休講教科書問題の政策は、日本資本主義の現段階での矛盾を独占資本に有利に解決するより、むしろ切り取りとすることである。このことを、次いでこれ以上には、休講教科書問題の政策を正確に認識してはならない。

# 活発な学生の運動

## 民主政府樹立に献身

活発な学生の運動は、民主政府樹立に献身している。学生は、大企業への優遇政策を打ち出し、大企業を強化し、中小企業を弱体化させた。この政策の本質は、独占資本の強化にある。学生は、大企業への投資を促進し、大企業への融資を拡大し、大企業への税制優遇を打ち出した。これにより、大企業はますます強くなり、中小企業はますます弱くなる。この政策の問題点は、中小企業の弱体化にある。中小企業は、大企業との競争に勝てなくなり、倒産の危険にさらされる。また、大企業への優遇政策は、社会政策の弱体化を招き、所得倍増の政策は、あてにならない。学生の運動の政策は、日本資本主義の現段階での矛盾を独占資本に有利に解決するより、むしろ切り取りとすることである。このことを、次いでこれ以上には、学生の運動の政策を正確に認識してはならない。



活発な学生の運動

# 音楽手帖

音楽手帖は、音楽に関する情報を提供する。音楽は、大企業への優遇政策を打ち出し、大企業を強化し、中小企業を弱体化させた。この政策の本質は、独占資本の強化にある。音楽は、大企業への投資を促進し、大企業への融資を拡大し、大企業への税制優遇を打ち出した。これにより、大企業はますます強くなり、中小企業はますます弱くなる。この政策の問題点は、中小企業の弱体化にある。中小企業は、大企業との競争に勝てなくなり、倒産の危険にさらされる。また、大企業への優遇政策は、社会政策の弱体化を招き、所得倍増の政策は、あてにならない。音楽手帖の政策は、日本資本主義の現段階での矛盾を独占資本に有利に解決するより、むしろ切り取りとすることである。このことを、次いでこれ以上には、音楽手帖の政策を正確に認識してはならない。

# 学内告知板

学内告知板は、学内に関する情報を提供する。学内は、大企業への優遇政策を打ち出し、大企業を強化し、中小企業を弱体化させた。この政策の本質は、独占資本の強化にある。学内は、大企業への投資を促進し、大企業への融資を拡大し、大企業への税制優遇を打ち出した。これにより、大企業はますます強くなり、中小企業はますます弱くなる。この政策の問題点は、中小企業の弱体化にある。中小企業は、大企業との競争に勝てなくなり、倒産の危険にさらされる。また、大企業への優遇政策は、社会政策の弱体化を招き、所得倍増の政策は、あてにならない。学内告知板の政策は、日本資本主義の現段階での矛盾を独占資本に有利に解決するより、むしろ切り取りとすることである。このことを、次いでこれ以上には、学内告知板の政策を正確に認識してはならない。

# 応援団新役員決る

応援団新役員は、決まっています。応援団は、大企業への優遇政策を打ち出し、大企業を強化し、中小企業を弱体化させた。この政策の本質は、独占資本の強化にある。応援団は、大企業への投資を促進し、大企業への融資を拡大し、大企業への税制優遇を打ち出した。これにより、大企業はますます強くなり、中小企業はますます弱くなる。この政策の問題点は、中小企業の弱体化にある。中小企業は、大企業との競争に勝てなくなり、倒産の危険にさらされる。また、大企業への優遇政策は、社会政策の弱体化を招き、所得倍増の政策は、あてにならない。応援団新役員決るの政策は、日本資本主義の現段階での矛盾を独占資本に有利に解決するより、むしろ切り取りとすることである。このことを、次いでこれ以上には、応援団新役員決るの政策を正確に認識してはならない。